

湯沢市地域公共交通計画の評価等結果(令和6年4月～令和7年3月)

指標	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
1	【評価指標:KPI】 交通拠点整備数 現状値(R4) 0箇所 目標値(R10) 6箇所	交通拠点を乗り継ぐだけの場所ではなく、にぎわいを創出し待合交流できる場所へと転換するために、交通拠点における待合空間の整備を行う	整備拠点数の累計	未達成 ・ 0箇所 ・拠点整備に必要な予定施設との打ち合わせやデジタルサイネージ等の設計書・仕様書の整備を行った	にぎわいを創出し待合交流できる交通拠点の整備に向け、地域ごとの特性を把握しながら進める。	令和10年度の実績で評価
2	【評価指標:KPI】 オープンデータ化率 現状値(R4) 34.8% 目標値(R10) 100%	地域公共交通の利用者の利便性の向上や安心感を醸成するため、路線バスや乗合タクシーに対するオープンデータ化に取り組む	路線バスと乗合タクシーに対するオープンデータ化済の路線の割合	達成 ・ 100%	引き続きオープンデータ化を継続していく	
3	【評価指標:KPI】 路線バスの市負担額 現状値(R4) 71,134 千円 目標値(R10) 78,250 千円	路線バスの効率的な運行を目指し、本市の財政負担の軽減を図り、路線を維持する	市の支出額を集計	【参考】 令和6年度実績 66,876 千円	路線バスの効率的な運行を目指し、路線を維持する	令和10年度の実績で評価
4	【評価指標:KPI】 乗合タクシーの市負担額 現状値(R4) 52,513 千円 目標値(R10) 57,770 千円	乗合タクシーの効率的な運行を目指し、本市の財政負担の軽減を図り、路線を維持する	市の支出額を集計	【参考】 令和6年度実績 57,613 千円	乗合タクシーの効率的な運行を目指し、路線を維持する	令和10年度の実績で評価
5	【評価指標:KPI】 路線バスの利用者数 現状値(R4) 149,111 人／年 目標値(R10) 135,000 人／年	既存の民間事業者による送迎サービス等を最大限活用することで、新たな移動手段の確保や利便性の向上を図る	バス事業者からの提供データを集計	【参考】 令和6年度実績 144,213 人／年	路線バスの効率的な運行を目指し、路線を維持する	令和10年度の実績で評価
6	【評価指標:KPI】 乗合タクシーの利用者数 現状値(R4) 16,280 人／年 目標値(R10) 14,700 人／年	既存の民間事業者による送迎サービス等を最大限活用することで、新たな移動手段の確保や利便性の向上を図る	タクシー事業者からの提供データを集計	【参考】 令和6年度実績 14,949 人／年	乗合タクシーの効率的な運行を目指し、路線を維持する	令和10年度の実績で評価
7	【評価指標:KPI】	誰でも利用しやすく分かり	市民満足度調	【参考】	市民の公共交通に対する	令和10年

指標	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
	公共交通の満足度 現状値(R4) 27.2% 目標値(R10) 33.7%	易い地域公共交通の整備を進めるとともに、市内で運行する公共交通機関にキャッシュレス機能を導入し、地域公共交通の利用促進や利便性向上を図る。	査	令和 6 年度実績 23.4%	満足度向上に向け、利用促進や利便性向上を図る。	度の実績で評価
8	【評価指標:KPI】 地域公共交通維持促進支援数 現状値(R4) 1件 目標値(R10) 6件	交通事業者による啓発活動を支援することで、地域公共交通の利用促進や担い手不足の解消を図る。 あわせて、免許取得の支援により、担い手不足の解消を図る。	支援活動数の累計	未達成 ・ 累計2件 ・バス運転士体験会の開催支援 ・アートバス事業における乗り方教室開催支援	・2 種免許取得に関する補助金の活用周知を行い支援数の増加を通じて、担い手不足解消を図る。	
9	【評価指標:KPI】 地域公共交通の利用率 現状値(R4) 8.6 回／人 目標値(R10) 8.6 回／人 (現状維持)	交通リソースを有効に活用することで、新たな貨物・旅客運送サービスの提供を図る	人口に占める地域公共交通利用者数の割合を集計	【参考】 令和 6 年度実績 9.0 回／人	多様な交通主体の連携により、公共交通利用の向上をはかる。	令和 10 年度の実績で評価
10	【評価指標:KPI】 新たな交通サービスの数 現状値(R4) 0 目標値(R10) 3つ	土日祝日等に便数が減る路線バスや乗合タクシーを補完するため、公用車を有効に活用することで、市民や観光客等への新たな地域公共交通の提供を図る。 また、地域主体の交通サービスを導入することで、地域公共交通の利便性向上や公共交通空白地域における移動手段の確保を図る。	新たな交通サービスの数の累計	未達成 ・ 累計1 ・公用車カーシェア事業の実証運行を行った	地域主体の交通サービスの導入に向けた支援を行う(高松地区)。 令和 7 年度に公用車カーシェア事業の本格導入を行う。 AI オンデマンド交通などの導入の検討により、地域公共交通の利便性向上や公共交通空白地域における移動手段の確保を図る。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。